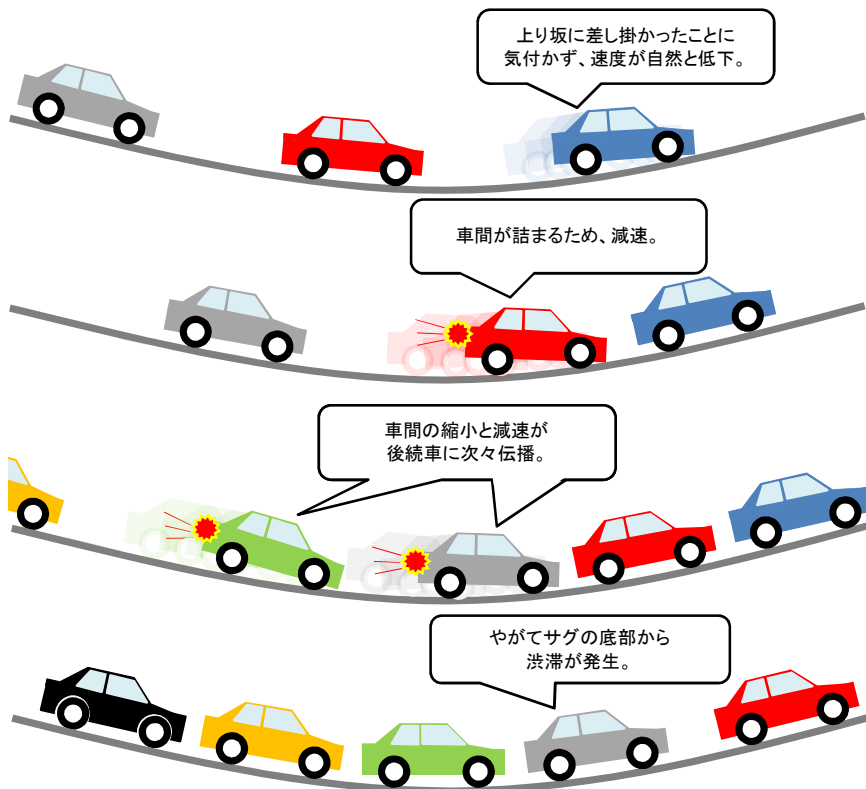


【参考資料③】 渋滞発生のメカニズム

下り坂から上り坂に変わる箇所など、上り勾配区間では、以下のメカニズムにより渋滞が発生します。このメカニズムによって発生する渋滞は、交通集中渋滞全体の約58%を占めています。

①無意識のうちに速度が低下

②後続車は車間確保のため、連鎖的にブレーキを踏む



1) 上り坂に入った車両の速度が自然と低下。

2) 後ろの車は、車間が縮まったことに気づき、速度を落とす。

3) 速度低下、車間距離の縮みが、後続車に次々と伝わる。

4) 下り坂の底部(サグ部)から渋滞!

※高速道路における渋滞とは、時速40Km以下で低速走行あるいは停止発進を繰り返す車列が、1Km以上かつ15分以上継続した状態を指します。